



生産者との「縁」と「畑」は、わたしたちの食料基地！

有機野菜セットの生産者と 夏の畑作業交流会

がはじまりました！ 夏休み、子どもたちもいっしょ！



8/ 2 清水農園さんにて 夏野菜収穫作業（モロヘイヤ・オクラ・枝豆）

**7/ 28微生物農法
の会 長島さんにて**

みんなで秋トマトの定植作業ほか。秋のトマトも最高に美味しい。秋の無農薬トマト供給お楽しみに！

ひきつづき、8/11 宇治田さん、8/22 天池さん（土れ味農園）、8/27 桑原さんと畑での縁農・交流があります。ぜひ、子どもたちといっしょに生産者と畑での作業で、おいしいものを作る汗を流しましょう！どうぞお気軽に！

【8月～9月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
8/ 2（火）清水農園交流会	8/ 4 岩瀬牧場「とんとん協議会」（出荷計画、母豚の健康管理、母豚の放牧場建設計画ほか）
8/ 6（土）土浦キララ祭り参加	8/ 5-6 生協ネットワーク21 組織担当者会議（常総）
8/ 9-12 能勢農場サマーキャンプ（大阪）	
8/ 11（木）やさと宇治田農園交流会	8/ 20（土）日本有機農業研究会・夏のシンポジウム 映画上映／「無音の叫び声」・講演／水俣・原発技術
8/ 20（土）役職員研修会	
8/ 22（月）やさと土れ味農園交流会	8/ 26（金）東海村村長らに「署名」提出 東海第二原発20年延長反対、安全協定拡大
8/ 22（月）夏休みおやつ作り教室（つくば松代）	
8/ 23（火）手作りバター講習会（龍ヶ崎・松葉）	
8/ 24（水）手作りバター講習会（土浦・四中公民館）	
8/ 27（土）やさとくわはら農園交流会	
8/ 31（水）第4回理事会	
9/ 3（土）朝市・フリーマーケット（本部前広場）	9/ 22（木／秋分の日）さようなら原発 さようなら戦争 9・22 大集会（代々木公園）に参加 （さようなら原発 1000 万人アクション）
9/ 6（火）山本先生の憲法講座・第Ⅱ期スタート	
9/ 10（土）八街ますだ落花生堀り・試食体験	
9/ 16-17（金・土）岩手産地交流（宮古・岩泉）	
9/ 24（水）乾物料理講習会（第10回）干し野菜	

7/ 28微生物農法の会 長島さんにて



ずっと前からお会いしたかった長島さんご夫妻にお会いできてそして畑の様子も見せていただけて本当に嬉しかったです。トマトの定植作業も、子供の良い経験になったと思います。長島さんの野菜づくりだけでなく、くらし方全体に魅了されました。

お家の雰囲気も、お人柄も、志も、いろいろと感じながらゆったりとした居心地の良い時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

たくあんづくりのお話を伺ってぜひ教えて頂きたいなと。頂いたお漬物もとても美味しかったので、きっと美味しいたくあんを作れるのだと思いました。(坂東市 名越)



カタログだけでお会いしていた長島さんに会いました。写真の印象とは違って見えました（ちょっとこわくみえていました）。お話しをすると、作業のコツのお話し、堆肥のお話し、お家のお話しなどいろいろ発見で参加してよかった。と思いました。

子どもはトマトの定植を楽しそうに行っていました。定期的にこれたら良いと思いました。(牛久市 中丸)



★長島さん農縁：次回は、11/19(土)に玉ねぎの定植と、秋の収穫を祝って餅つきをやろうということになりました。

8/ 2 清水農園さんにて



野菜セットの出荷までの流れを自分達で体験でき、その上、収穫した野菜をお土産にいただけ、とてもお得感いっぱいでした。お漬物も美味しく、レシピまでいただけて・・・。

一番は、虫がいる(畑に)事に目もくれず、野菜の収穫に一生懸命だった子どもたち。成長ぶりも見れてよかったです！

いつも元気なお野菜たちを有難うございます。なぜこんなに「元気」なのか分かりました！(松戸市 大木)



★清水農園縁農：次回は、10/8(土)さつまいもの収穫と、焼き芋大会を予定。2,3月は野菜の片付け。

商品部からのご案内

雑穀・三陸鮮魚セットのふるさと 岩手県 / 宮古・岩泉にごいっしょしませんか！(別チラシ案内)

山のもの、海のもの産地、岩手にお伺いします。ごいっしょしませんか！

盛岡から、私たち常総生協の「雑穀」のふるさと、岩泉のおばあちゃん・おじいちゃんたちを訪問します。アワ・キビの収穫、脱穀の体験もします。お水でお世話になる「龍泉洞」にも寄って宮古に入ります。翌朝は宮古漁港の市場で、私たちに「鮮魚セット」を届けてくれる丸友しまかさんのセリの様子を見学します。しまかさんの工場見学もして、盛岡で解散です。

交通費・宿泊費等生協が約半額負担です。岩泉雑穀や鮮魚セットなど岩手のファン、そして岩手県がふるさと組合員さんにはぜひご一緒頂きたいです！

地元千葉県八街（やちまた）「ますだ」さんの契約畑の落花生を収穫、その場で茹でて味わう体験

今が旬。美味しい落花生が出来ました！

～ますだの落花生 畑で収穫・試食体験募集のお知らせ～



常総生協 2016/8/8

9月は落花生収穫の季節です。昨年は例年になく落花生の大不作で交流会が出来ませんでした。収穫直前に乾燥が続いたのが原因です。

今年は、今のところ(8/4 現在)順調に育っています。そこで、ますださんの落花生畑で収穫体験をして、その場で生落花生を茹でて味わってみよう！ということを行います。

落花生ってどうやって畑で実っているか知っていますか？読んで字のごとく花が地面に落ちてそこから土の中にもぐりこみ、実が膨らんで落花生になるんですよ。

…言葉で言われてもよくわからないと思います「百聞は一見にしかず」。畑に行ってみよう！

当日は、ますださんのこだわり「落花生の天日干し」の様子や、「工場見学」など落花生づくしの1日にしたいと思います。お友達も誘ってぜひご参加ください。

◆開催日時

9月10日(土) 10:00～14:00頃

◆場所

落花生のますだ 〒289-1100 千葉県八街市八街ろ26-20

*最寄りのインターチェンジは東関東自動車道「佐倉IC」です。ここから10分程度です。

*近くに、「川村美術館」や「国立歴史民俗博物館」などもあるので、帰りに立ち寄られてもいいと思います。

◆当日のスケジュール

10:00 現地集合
収穫体験
11:00 工場見学
12:00 昼食交流
茹で落花生試食
14:00 現地解散

◆持ち物

汚れてもいい恰好、軍手、帽子、長靴、タオル(*畑で収穫体験します)、着替え
水筒、お弁当



落花生畑の前で増田さん親子

★交流会参加申込書 *締切日 2016/8/26(金)

☐ **ますだの落花生 交流会に参加します。**

コース名

班名

組合員 NO

組合員名

参加人数: 大人

人

/ 子ども

人

*生協からも当日産地へ向かいます。一緒に同乗していきたいという方いましたらお知らせください。人数に限りがありますが、ご一緒出来ます。



山本先生の憲法講座 都留さんの歴史講座 第Ⅱ期がはじまります！



「平和と人権は、人々のたゆみない努力で形作られ、
不斷に発展してゆくもの」(山本先生)

憲法と歴史の勉強会・・・第Ⅰ期から引き続き開講して頂けることになりました。生き方、くらし方、社会づくり、いっしょに学びましょう！



私たちのくらしと憲法 Ⅱ		歴史を学ぼう Ⅱ - 未来のために	
山本茂 先生 前茗溪学園社会科講師		都留孝子 先生 中高社会科非常勤講師	
10:00～11:30 生協本部組合員室		10:00～12:00 生協本部組合員室	
9月6日(火)	資本主義の発展とワイマール憲法	9月17日(土)	戦争責任を考える
10月4日(火)	ファシズムと大日本国憲法	10月22日(土)	(未定)
11月1日(火)	日本国憲法の成立	11月26日(土)	(未定)
12月6日(火)	日本国憲法の構造	12月17日(土)	(未定)

★第Ⅰ期の講座のまとめと意見・感想はシリーズで紹介してゆきます。

日本の戦後70年を問う！ 次世代に残す道を探るシンポジウム

常総生協も参加している日本有機農業研究会で、戦後70年を総括し次世代にいかなる社会を残してゆくかをさぐるシンポジウムを企画します。司会運営を常総生協が担います。

広島・長崎の犠牲による終戦、大量生産・消費の経済に人々を動員し、他方で水俣病をはじめとする公害被害、農薬・化学肥料漬けにされた農業と食の汚染をもたらした高度成長。そして科学技術の頂とされた原子力は平和利用の名の下で福島島の災禍をもたらし人々の営みとくらし・健康を破壊した。今戦後70年という時代の峠に立って、「次世代に如何なる社会を残せるか」を探るシンポジウムです。東京渋谷の國學院大學のホールをお借りして開催します。



日本有機農業研究会 夏のシンポジウム 2016

8月20日(土) 会場：國學院大學常磐松ホール

【午前の部】10:00～12:30 (参加費 1,100円)

木村達夫ドキュメンタリー映画『無音の叫び声』上映 & 監督 原村政樹さん

【午後の部】13:30～17:00 (参加費 1,300円 / 25歳以下 500円)

講演1 「水俣病の民衆史」 岡本達明さん

(元チッソ第一組合委員長 / 民衆史研究家)

講演2 「原発と現代技術」 井野博満さん

(柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会代表 / 東大名誉教授)

原爆投下で幕を閉じた第二次世界大戦。あれから70余年。今、再び戦争の足音が聞こえてくる。水俣病公式確認から60年。東日本大震災に伴う東電福島第一原発事故から5年。

戦後高度成長によるくらしの変化と公害、農村の変貌、そして農薬・化学肥料による食と環境汚染の中から「土からの健康・生産者と消費者の提携・直し」をめざした有機農業運動の実践を重ねて45年。

今、わたしたちが果たさねばならないことは何か。

先祖より受け継いだいのちの基盤である森・里・海を市民の支え合いで次世代に受け渡さなければならない時である。

戦後70年を総括し、時代の「峠」(真壁仁)を画した新たな社会の構築をめざして、今年のシンポジウムは戦後の3つの課題ー戦争と農村・農業、公害の原点水俣病、そして原発を取り上げ、地に足をつけて民衆と共に「時代」を生きて抜いてきた三者に語っていただきます。

口(懇親会) 17:30～19:30 若木ガ丘カフェにて(3,500円) 申込必須 8月5日まで。

■申込・問合せ先 日本有機農業研究会事務局 当日参加可です。

電話: 03-3818-3078 Fax: 03-3818-3417 E-mail: info@joan.net 〒113-0033 東京都文京区本郷3-17-12 プレシアス本郷501

主催 NPO 法人 日本有機農業研究会



木村達夫さん(映画) 岡本達明さん 井野博満さん



JR 渋谷駅下車、徒歩15分 バス 54番 03 赤坂センター行き 國學院大前下車

【午前の部】10:00～12:30 戦争・戦後高度経済成長の矛盾・農村と都市

東北の小さなムラのくらしから 戦後の歩み、戦争と平和、戦後日本社会を見つめ直すドキュメンタリー 大地を想ひ、平和を希求する農民詩人木村達夫からの東家へのメッセージ

木村達夫ドキュメンタリー映画『無音の叫び声』上映 & 監督 原村政樹さんのお話し



日本の農民たちが抱え込んできた苦悩を綴ってきた男がいる。詩人であり、行動する人であり、なにより農民として一途に生きてきた人。木村達夫、八十歳。

戦後山形県上山市牧野に小作人の長男として生まれ、太平洋戦争で父を亡くし、戦後農政に翻弄されたが、野良で汗を流しながら、家族を守り、地域のくらしを見つめ、農民の「声にならない声」を詩に紡ぎつけた男。

その詩は、くらしに根ざした野の叫びであり、「地下水」のごとく湧き出す民衆の声。

このドキュメンタリーは、その詩人の歩みと今、その家族・地域のくらしを東北の小さな村を舞台に追いつきながら、命を育む農業の大切さ、平和を希求する民衆の声、地域に根ざした新たなくらしの深まりを胸に描きだす。

『いのち結する人々』などの原村政樹監督が木村達夫さんの詩や人生を描くドキュメンタリー。語り 室井温、朗読 田中重。

はほんのひのまる
なだててあが
かえらぬ
おらがむすこのちであかい
コメのなるまは
おらがむすこのちであかい
コメのなるまは
おらがむすこのちであかい
コメのなるまは
おらがむすこのちであかい

【無音の叫び声】制作委員会 日本有機農業研究会 監製 星寛治さんより 「危機の時代に放つ魂の叫び」

東北の村の一角から、静かな地帯のうしろの山に上った。農民詩人木村達夫さんの生きざまを描く記録映画『無音の叫び声』が放つ魂の叫び(二木)である。

牧野村の美しい風土に根ざす農業と、戦争によって奪われた家族の日常と平安・悲運の歴史を背負いつつ、ひたむきに生きていく主人公と村人たち。

変転する農政に翻弄されたが、人々はイノとムラの伝統をめざして生きてきた。互恵を重り越える自立と互助の習いこそ、村共同体の底力である。同時代を生きているよこばと希望があると映画は語りかけてくる。

【午後の部】13:30～17:00 公害の原点 水俣病から、最大の公害・原発事故に至る現在の分水嶺

「水俣病の民衆史」 岡本達明さん (元チッソ第一組合委員長 / 民衆史研究家)

水俣病を背負い、加害企業チッソの労働者としてその内部から水俣病患者と共に闘い続け、今は社会の底辺を知るためのライフワーク「民衆としての日本の近現代史」に取り組んでいる岡本さんが今、伝えたいことは・・・



チッソ第一組合委員長岡本さんは水俣病で「きつと代えとります」と患者の運動に賛同した。チッソ第一組合労働者による全国初の「公害スト」にて(1970年)

「原発と現代技術」 井野博満さん

(柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会代表 / 東大名誉教授)



「100年間の富貴を築き上げた」原子力技術を監視する市民の会の専門家として専断に異議を唱える井野博満さん(2014年)

「有史以来最大の公害事件」と判決された福島第一原発事故。

材料科学の専門家として「原発は技術ではない」と告発し続けてきた井野さん。有機農業運動にも参加。巨大化した「現代技術」の本質と市民のあり方を問う。

